

BUNKASHA COMICS S*girl Selection

愛染マナ

家庭内

ヒキア

義理の息子と越えた一線



家庭内

愛染マナ

#1 義息が男に変わった日

義理の息子と越えた一線



本当に素敵なお家族で
羨ましいわ

ははは…
どうも

あら

瀬戸さん
朝から全員おそろいで



之彦さん
ありがとうございます

紗月さん
持つよ
重いでしょ？



ねえ今週末
結婚記念日の
覚えてる？



あらっ

今日はないよ

君哉
今日はバイト
あるの？

声までお父さんに
そっくりなのね
びっくりしちゃった



鍵閉めるよ

はい

管理人さん
おはようございます

紗月さんが
行きたがってたお店
予約してあるよ

6年前
母を亡くした私に
寄り添ってくれたのが
当時の上司

之彦さんだった

課長には本当に
何から何まで
お世話になりました

いいんだよ

就職してやっと
母に楽させて
あげられると思ったのに...

大川

好きなだけ
泣きなさい

課長 なんだか
お父さんみたい

お父さんてほど
年じゃないだろう

どうしてこんなに
親切にして
くれるんですか？

大切な人が突然
いなくなつて
しまうのは
耐えがたいだろ？

僕も妻を
なくしていてね

いやなくしただと
誤解があるかな

ある日
いなくなつて
しまったんだ

ごめんなさい
ごめんなさい
メモだけ置いて

息子が5歳の
時だった



どうしたの？
ニコニコして

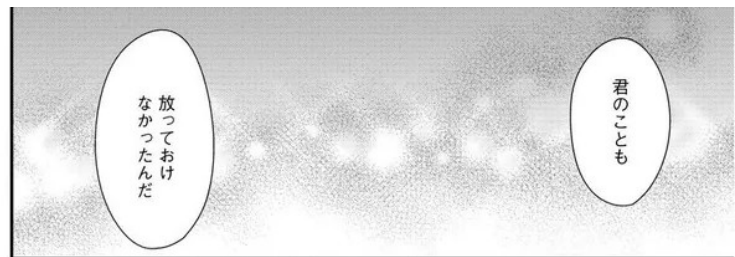
もうそういうのは
俺がない所で
やってよ

之彦さんと結婚して
良かったなあ
と思って



警察から電話があったのは

その日の夕方だった



放っておけ
なかったんだ

君のことも



大切な人が突然いなくなって
しまうのは
耐えがたいだろ？

心に傷を負った私たちは

補いあうように
寄り添うように

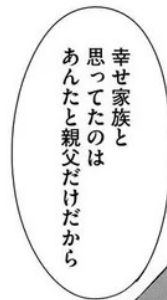
家族になった













発行所 株式会社ぶんか社
〒102-8405
東京都千代田区一番町29-6
www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。



BUNKASHA COMICS S*girl Selection

愛染マナ

家庭内

ヒキア

義理の息子と越えた一線

家庭内

愛染マナ

ピアメ

#2 涙の理由

義理の息子と越えた一線



ちよつと慣れないけど
今日からこう呼ぶね

母さんって



きみや
君哉くんが…

初めて
「母さん」って
言ってくれた時…



うれしかったよ...

私...

手ほどくから...
起きて...





大丈夫です
ありがとうございます
叔母さん



今私…ほっとした。



イヤだ。



そ そう…

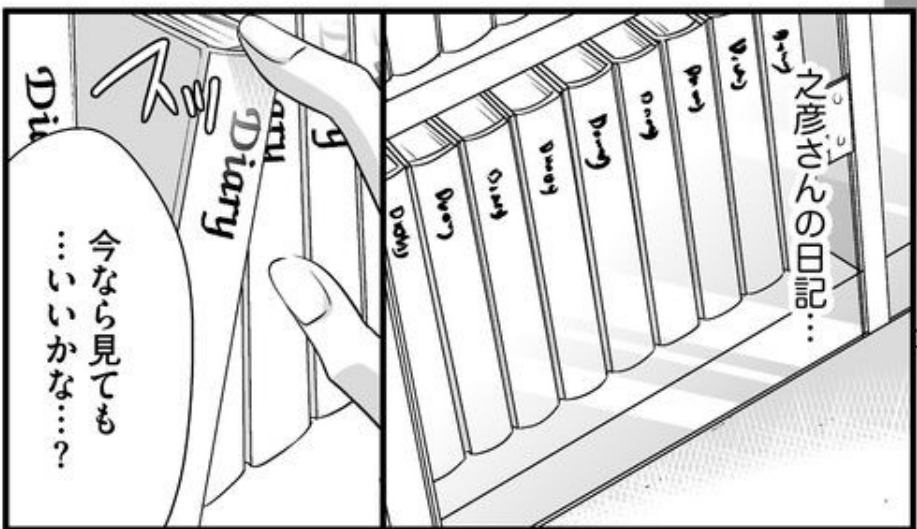
俺は電車で帰るから
母さんはタクシー
で帰りなよ



愛してるって
言ったくせに

私は今…

君哉くんが怖い



ゆきひこ
之彦さん
私どうしたらいい…?

今なら見ても
…いいかな…?

あなたと

話したい…



ねえ…
何か…言ってる?





昨日出てってって
言ったの覚えてる？



解消するには
双方の合意がないと
いけないの
知ってるでしょ？



今日出てくなら
同意してあげる

そんな急に

あんなことされて
まだ決められないの？

荷物ならまとめて
送ってやるから

どっかのマンスリーに
でも行けよ

親父はあんたを
受取人にして
生命保険をかけてた

それが入れば
住む場所くらい
探せるだろ

でも私がいなく
なったら
君哉くんひとりに



何があっても
俺を裏切らないって
自信があるなら

コンドーム買って
帰ってきてよ

き…君哉くん…

昨日の続き
しよう

昨日からどう
しちゃったの？

早く行けよっ



もう…

何かなんだか
わからない…

そっ…



最近の君哉は友達も増えて
随分明るくなったと思う。
少し安心した。

君哉が小学校を卒業した。
綾子がいなくなって6年。

5月4日

君哉と北海道に旅行に行った。
一人で留守番をエセてもらう事のため
家が休みの遊園地にも連れて行って
やらせたから、行けて良かった
楽しんでくれたらいいな。

あつと言う間だった。
君哉には随分我慢を
させてしまったと思う。

あの子には母親が必要なのかも
知れないと、そう思う反面、
私は未だに心の整理が
付けられないでいる。

君哉、あの日から泣かなくなったのを知ったのは父さん

君哉、あの日から泣かなくなったのを知ったのは父さん

君哉...

あつ

知っているよ

私は...

あの日から...おまえが
泣かなくなったのを



君哉くんは――

之彦さんが
亡くなった時も
昨日も今日だって

泣かなかった――

お母さんが
いなくなったあの日から
ずっと……



こんな父さんで……
ごめん…ね

うっ

あぁっ



じゃあね

母さん



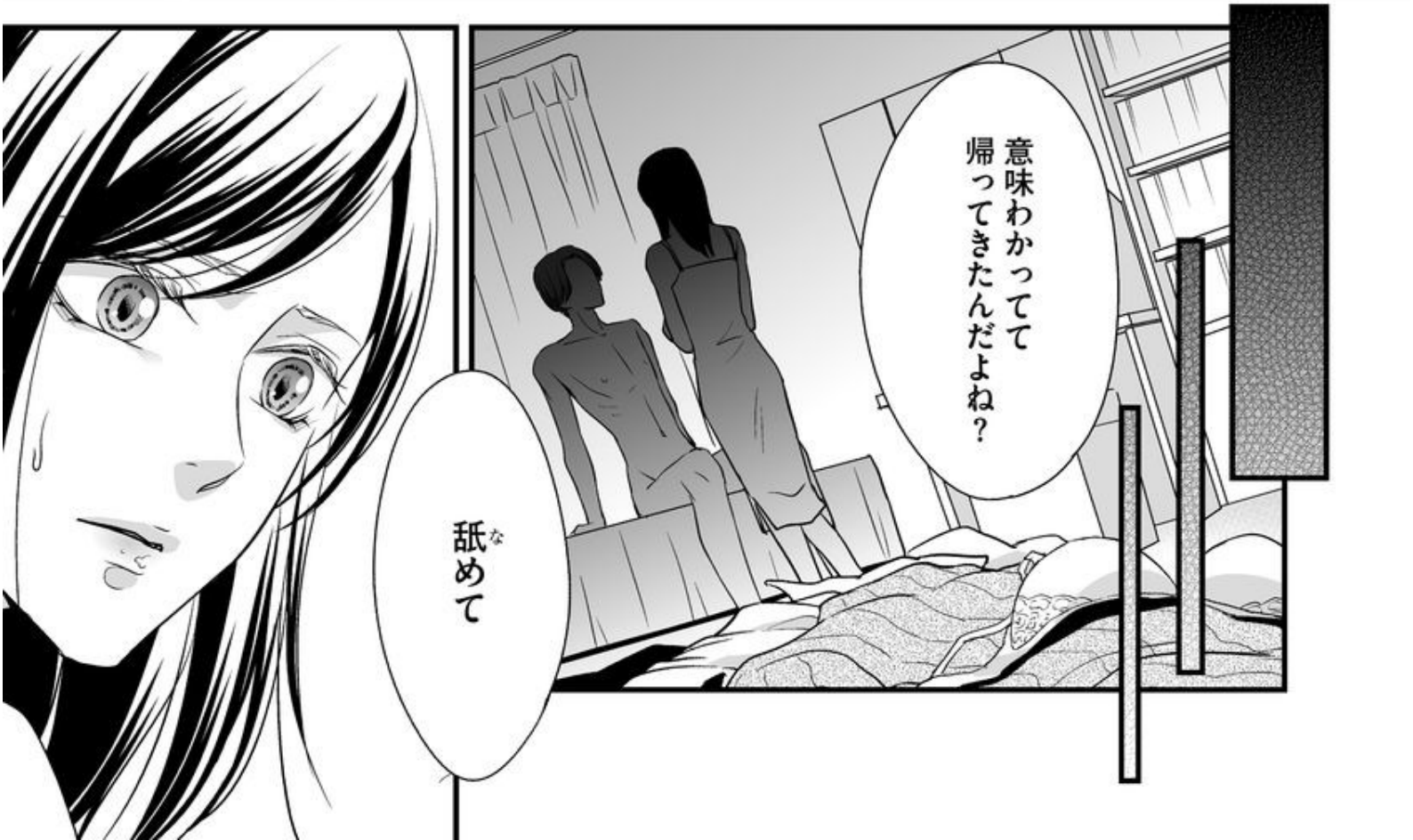
なんで……
帰ってきたの……？







…来て…



意味わかってて
帰ってきたんだよね？

舐^なめて



やだっ

あっ
やっ



そんな所…

意外と気持ちいい
でしょ？

あはは

あはは



ほらこっち
濡れてきたよ

あっ

んっ
んっ

やっ

あっ

あはは

あはは

あはは

あはは



ぬるっ

あっ

そんな...っ

あっ
あっ

ああ

はあっ

あっ

もっともったいぶってほしかった？



これからいっぱい
するんだから

いいじゃん

ほら



これでよかったのか

わからないうけ

あっ



私は君哉くんを

あなたの息子を

あっ
んあっ

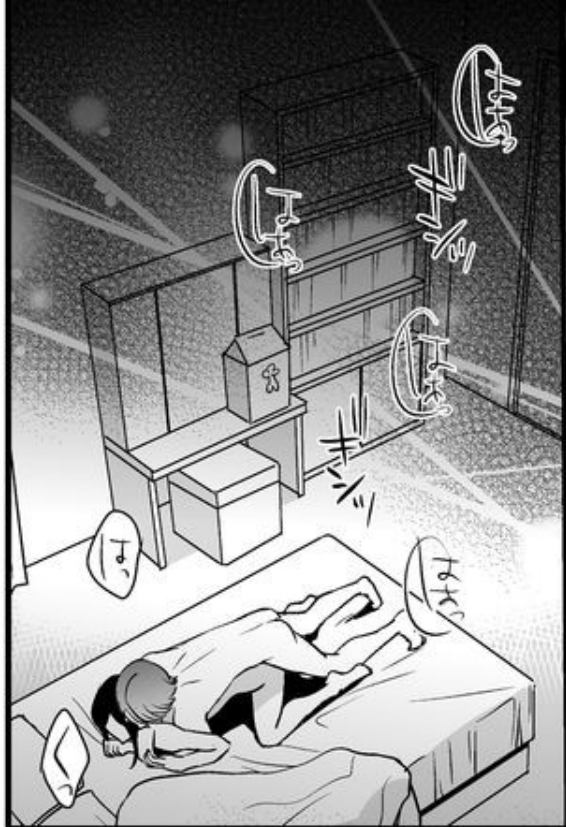


ごめんなさい
之彦さん

あっ
やっ

あっ





★第3話へつづく★

発行所 株式会社ぶんか社

〒102-8405

東京都千代田区一番町29-6

www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。

BUNKASHA COMICS S*girl Selection

愛染マナ

家庭内

ヒキア

義理の息子と越えた一線

愛染マナ

家庭内

#3
残酷な愛欲

ヒール
アイ

義理の息子と越えた一線





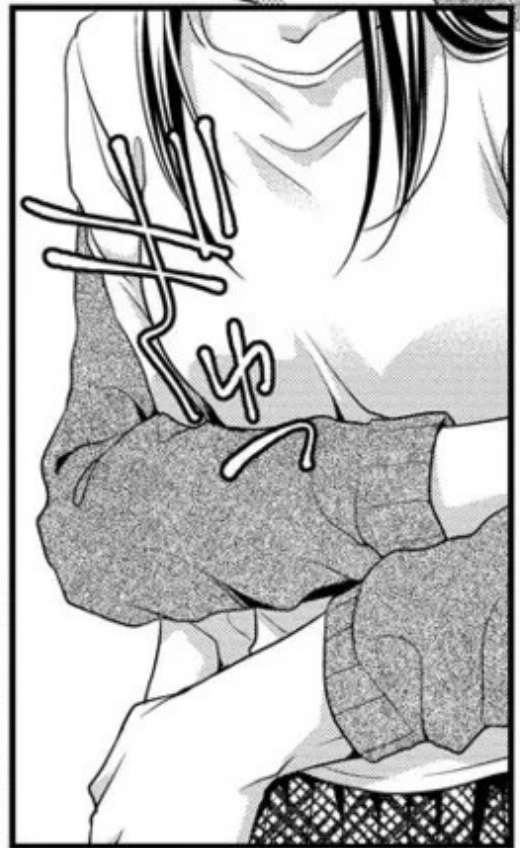
痛かった？

……ごめん



ねえ

まだ俺のこと
嫌いじゃない？





嫌いになんて
ならないよ



学校
行ってくるね

今日母さんは?
パート?

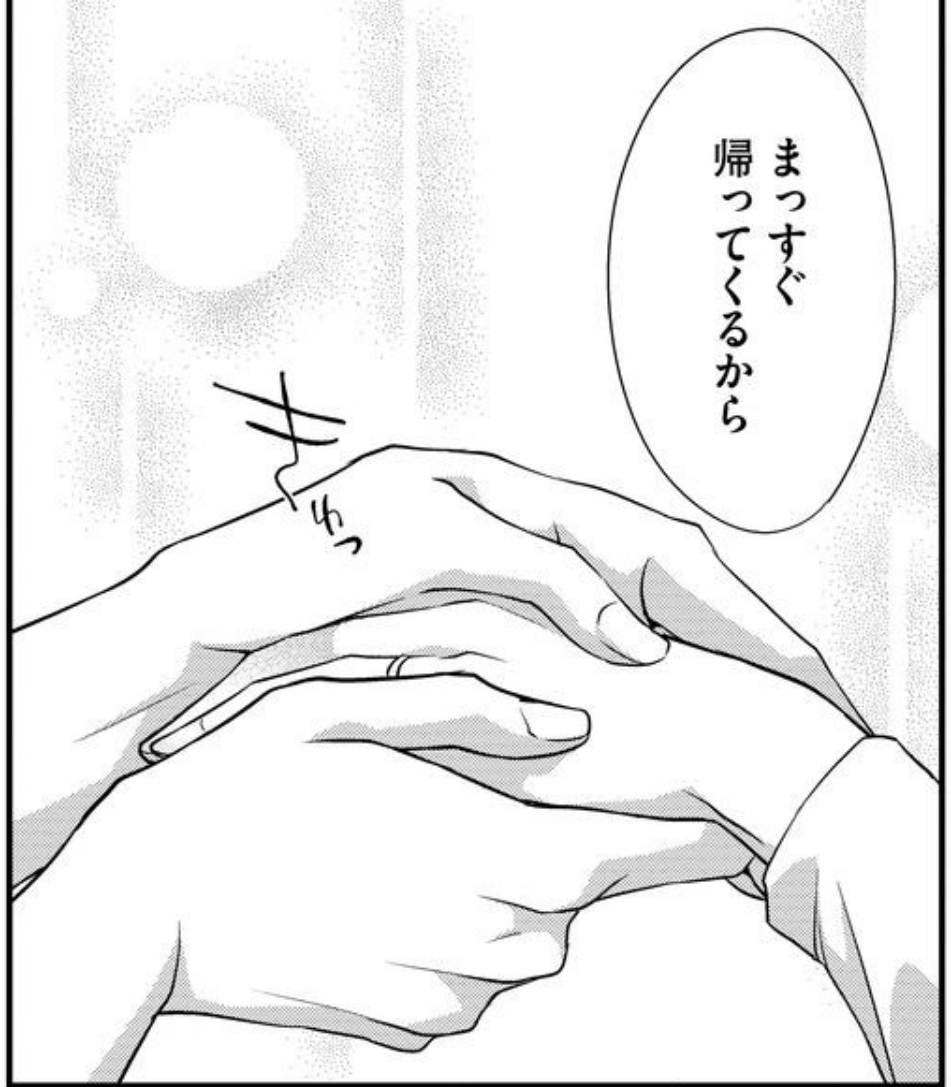
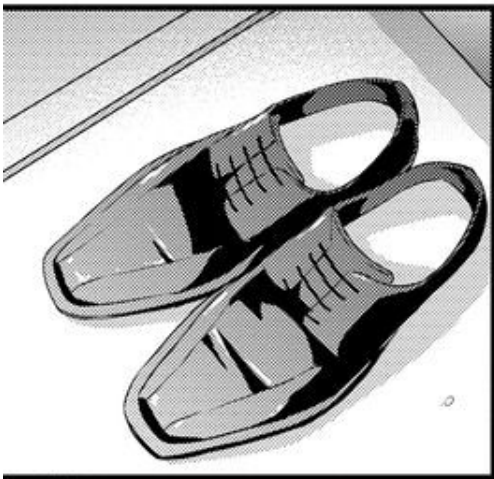


今週いっぱいお休み
もらっちゃったの
みんな気遣ってくれて

家でひとり
いるほうが
減入っちゃう
のにね:



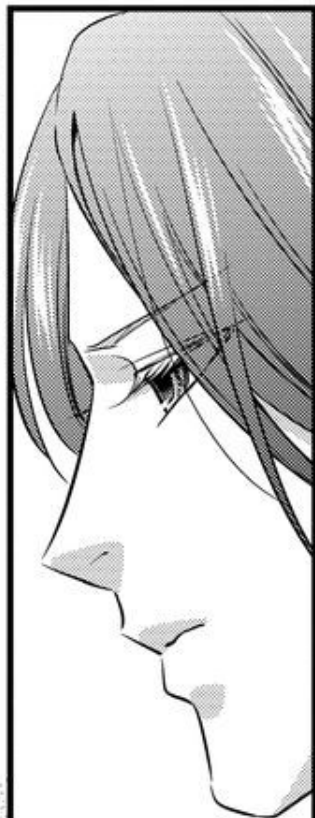
じゃあ
行ってきます



まっすぐ
帰ってくるから



君哉に会ってほしい人が
いるんだけど





へえ

どんな人？
楽しみにしてる



おおかわさつき
大川紗月さんて
いう人で



…サツキって
いうんだ…あの
人



一緒にいるところ

駅で何回か
見かけたから



父さん
俺本当は知ってたんだ



初めて見た時は



父さんには俺しか
いないんだって

けっこう
傷ついたんだよ



ずっとそう思ってたのに――



俺だけが
独りぼっちじゃないか
……って

だけど

あの人は
俺にも優しくかった

紅茶で良かった？

はい

敬語じゃなくて
いいよって
いっても：

なかなか
難しいよね

すみません：

ううん
いいの

私も：

5歳の時に
両親が離婚してね

今はもう父親が
どこにいるかも
わからないの

母の葬儀にも
こなかったから



だから君哉くん
の気持ちも

少しは…
わかるつもり



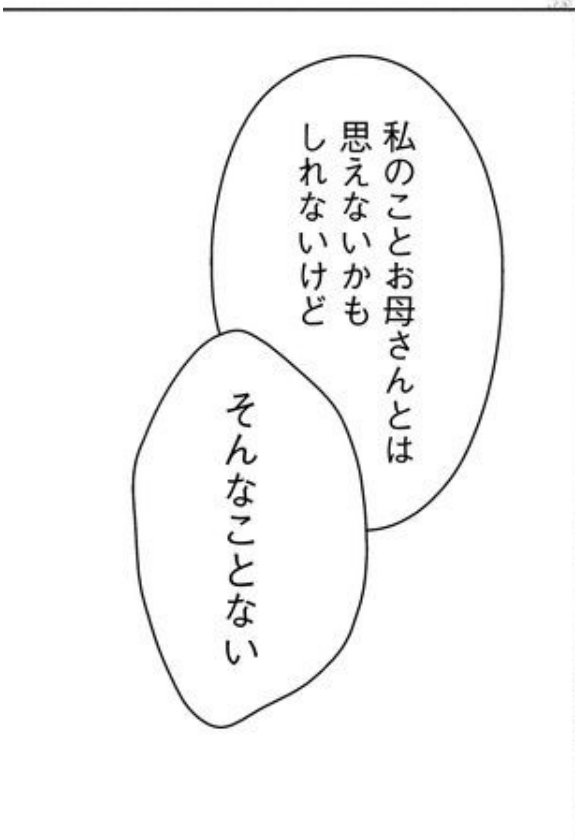
本当は
なんでこんな人
連れてきたんだって

思ったん
じゃない？



なのにね…バカみたいだけど
…今でも忘れられない

最後に見た
お父さんの後ろ姿



私のことお母さんとは
思えないかも
しれないけど

そんなことない



母さんって



大丈夫

だから…
慣れないけど
今日からこう呼ぶね



ありがとう
よろしくね



俺はあの人の一番じゃない

「本当に之彦ゆきひこさんに
そっくりだね…」



そわそわおぼろ

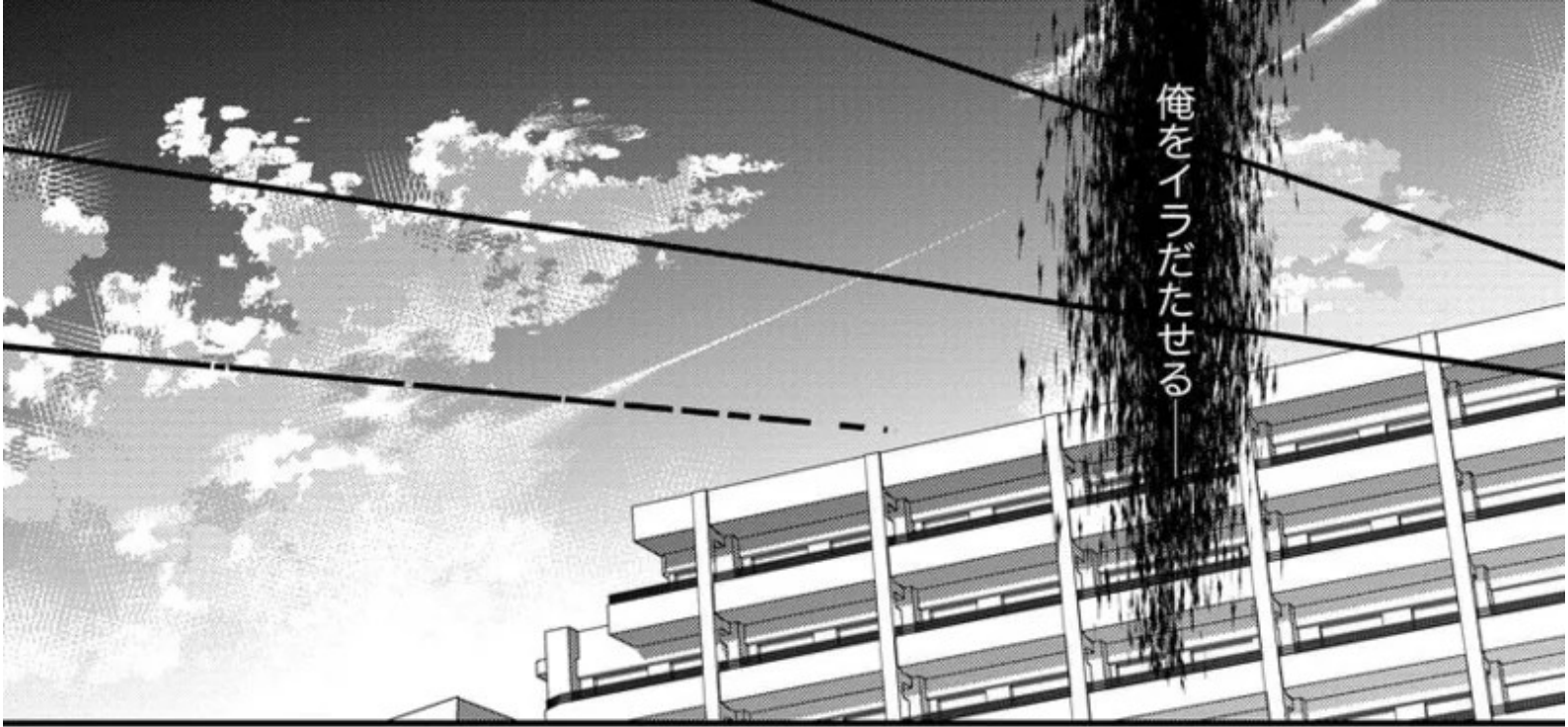
「私は君哉くんを
置いてなんていけない」

母さんの優しさは

ごめんねさ

出てってくれば

諦めだつてついたのに



俺をイラだたせる



ただいま...



ただいま



母さん!!

いない...の?





いなくなった
かと思った



きつ
君哉くん…

やめて



やめない



イヤだ大丈夫っ

んっ

んっ



ちよっ

ちよつと
待って



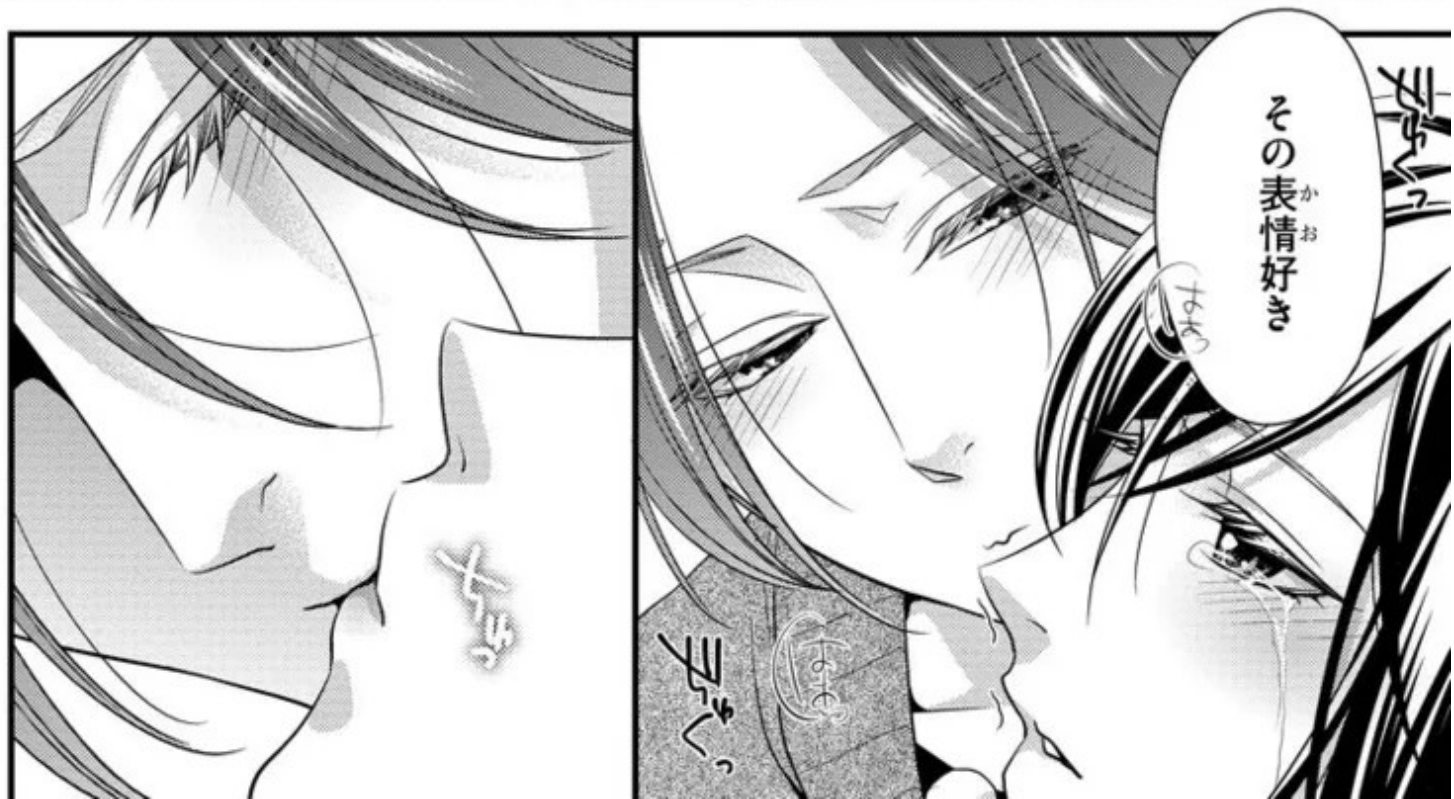
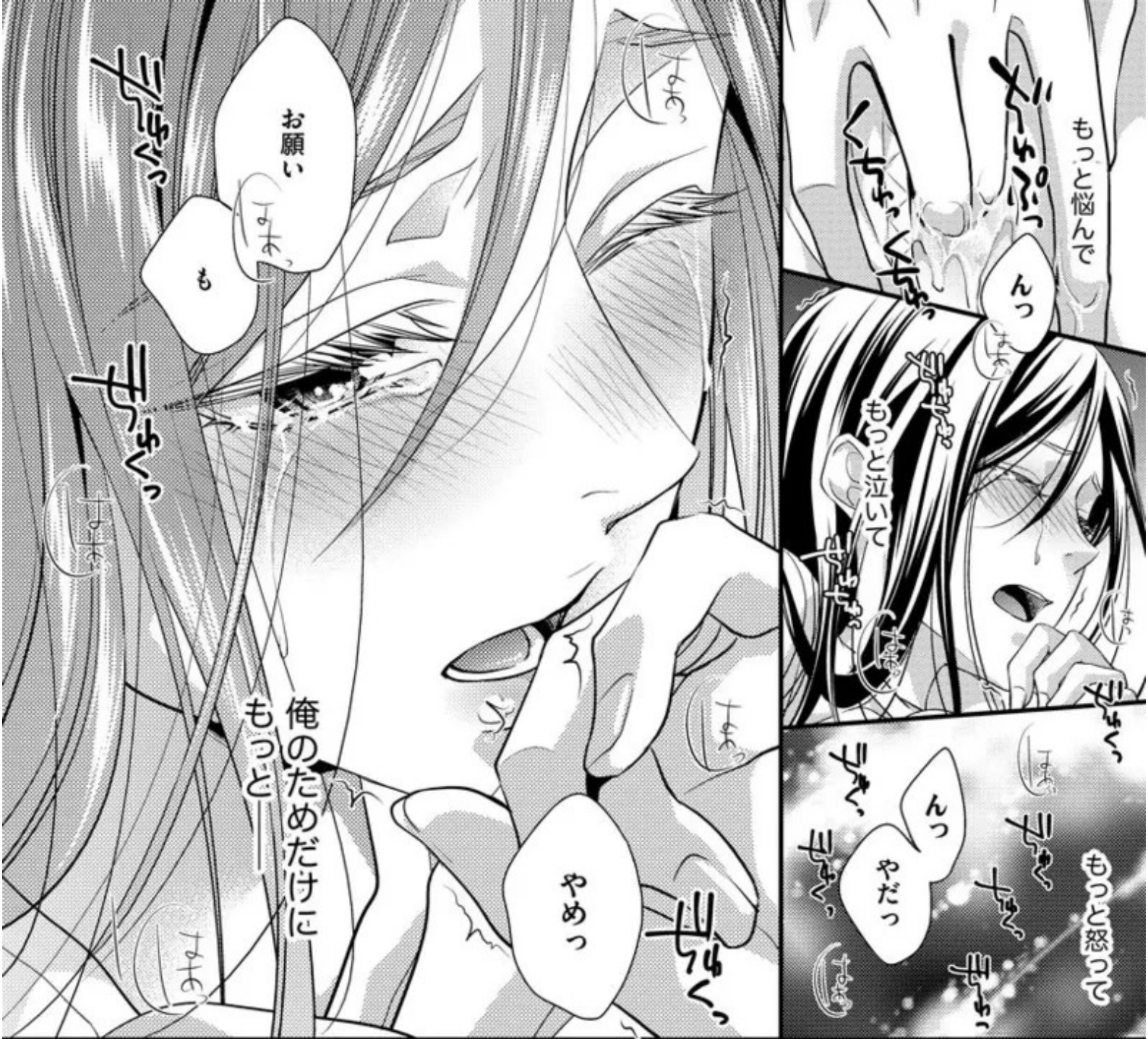
あんまり
大きい声出すと
隣に聞こえるよ

いっイヤ…

やめてっ…



イヤなら絶対
感じないでね？





俺のために
もつと

傷ついて
苦しんで



あ

ねえ



ねえ

母さんは?

俺のこと好き?
愛してる?



ちゃんと目見て
いって

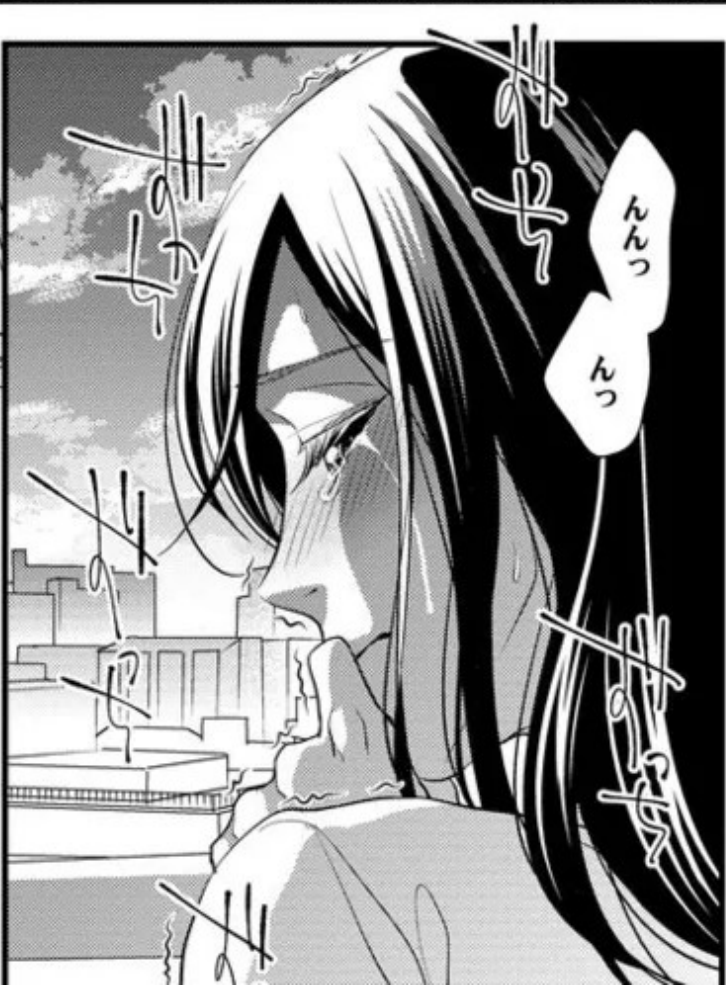
あ



それでも
愛してるってさうら

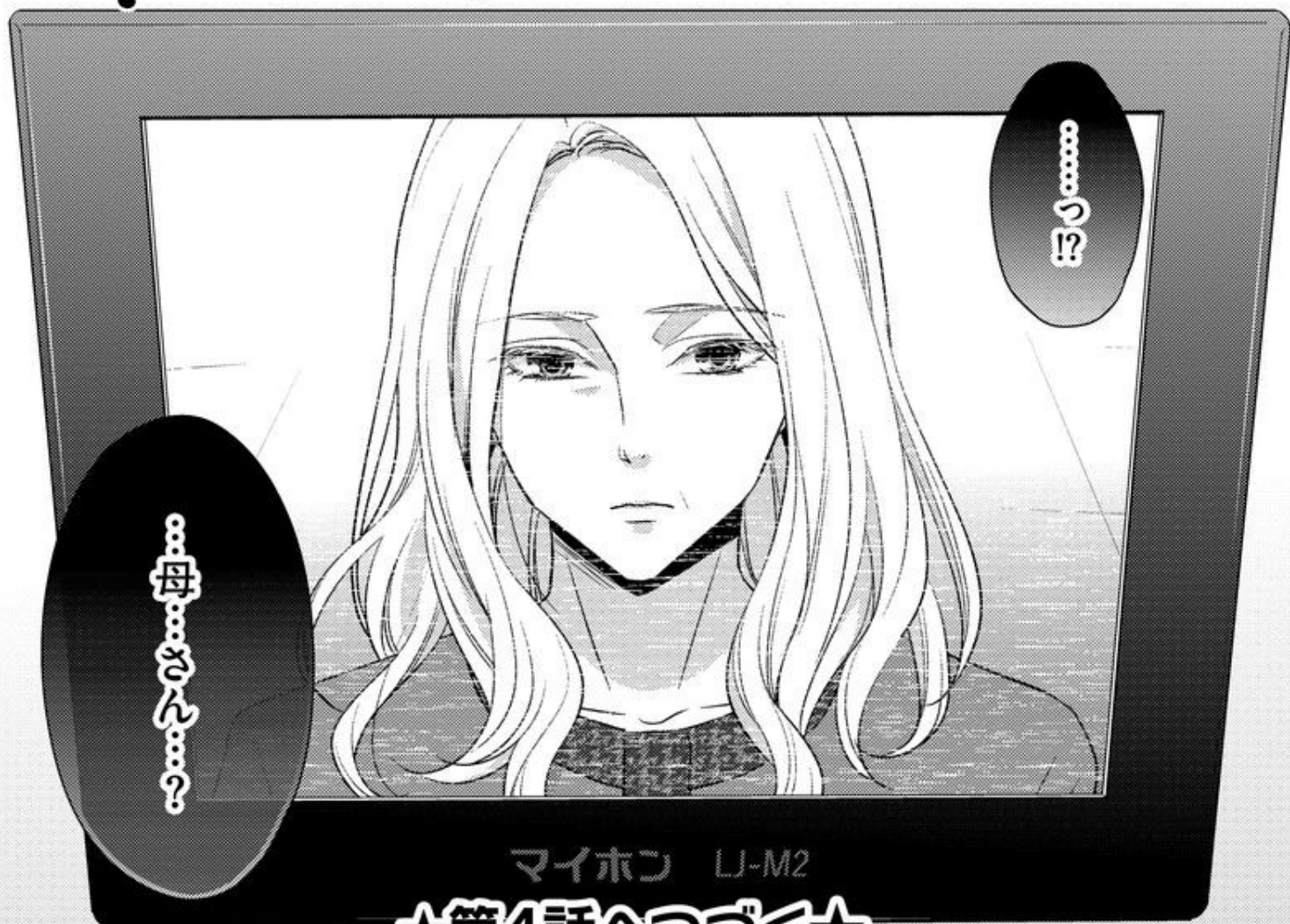
愛して...

る









マイホン LJ-M2

★第4話へつづく★

発行所 株式会社ぶんか社

〒102-8405

東京都千代田区一番町29-6

www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。

BUNKASHA COMICS S*girl Selection

愛染マナ

家庭内

ヒキア

義理の息子と越えた一線

#4 気づいてしまった感情

愛染マナ

家庭

内

アネ

義理の息子と越えた一線





私は君哉くんを
受け入れることで

目を
そらしているんだ…



之彦さんがもういない
という事実から…



感情が…麻痺して…





どうぞ



一緒に寝てもいい？

今日はもう
何もしないから

カキヤッ



俺が幸せにするから



大げさだよ…

君哉くんだったら
社会に出たら



…母さん…
ずっとここにいてね？

父さんの分まで
俺が愛してあげる

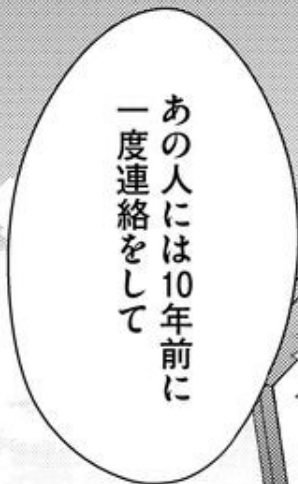
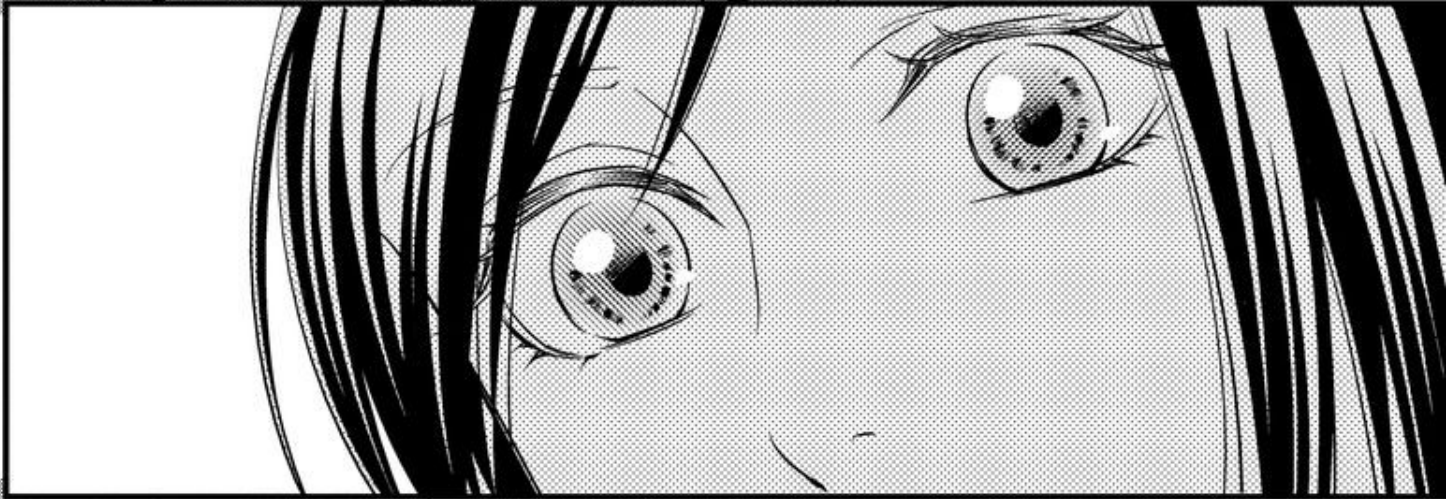


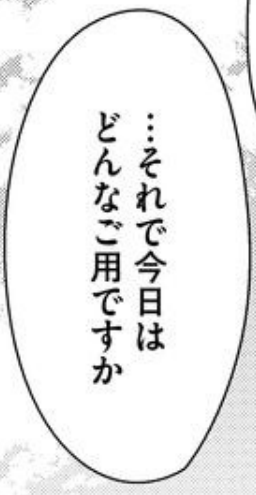
俺本気で言ってるよ



君哉……くん……









ええ…でも…
インターホン越しに
追い返されてしまって…

いらしたん
ですか？



昨日は…

君哉に会ってすら
もらえませんでした…



だから昨日

君哉くんは
あんなこと…



他人のあなたが
背負う必要のないよ

あなただってあなたの
人生があるでしょう？



今のダンナは
お金はあるんです

苦労はさせませんから
せめて話を聞くように
言ってもらえませんか？



本当に勝手な
人ですねっ

背負わなかった人に
そんなこと
言われたくないっ!



何…言ってるの…?
この人…

之彦さんや君哉くんが

今まで一体
どんな気持ちで…



他人なんかじゃない…



君哉くんに
会わすことなんて
できませんっ

失礼しますっ!



そんなこと

そっだよね
君哉くん…

俺本気で言ってるよ



ええ
たぶん大丈夫よ

マネージャーも
形式的なものだから
って言ってたし

どうだった
面接



ただいま



やだ
私だってパートじゃ
正直物足りなかったから
ちようどいいよ

ごめんね



おかえりなさい

他人のあなたが
背負う必要のないのよ

イヤだ！
思い出しちゃった…

ねえ

何かあった？

必要だったら
俺働くよ？

違うの…
そうじゃなくて…

…会ったの
…君哉くん…

本当のお母さんに



ほっ本当っ？

なっなんて言っってたっ!?
あの人何しにきたのっ!?

君哉くんは

なんだかんだ
お母さんのこと
気になるんだ…

あ…



なのに…私…
勝手にあんなこと…




そりゃあめ…そりゃだめね…



母さん


隠さないで
教えてよ



…君哉くんのこと…
引き取りたいって…

再婚されてて…
相手は社長さん
なんですって…

君哉くんのこと
歓迎してくれてる
みたいよ



それで母さんは
なんて言ったの？

私は…その時は
なんとも…

…でも
いいと思うよ

私だってまだ
これからの
人生があるし

…それ本気で言ってるの？



そんな表情で?



それにつ

お母さんの所に行けば
君哉くんだって
もうひとりじゃない
でしょう!?

おかしいよっ
こんなの

やめてっ



俺のイクとこ見てて

どっどうして
そうなるの？

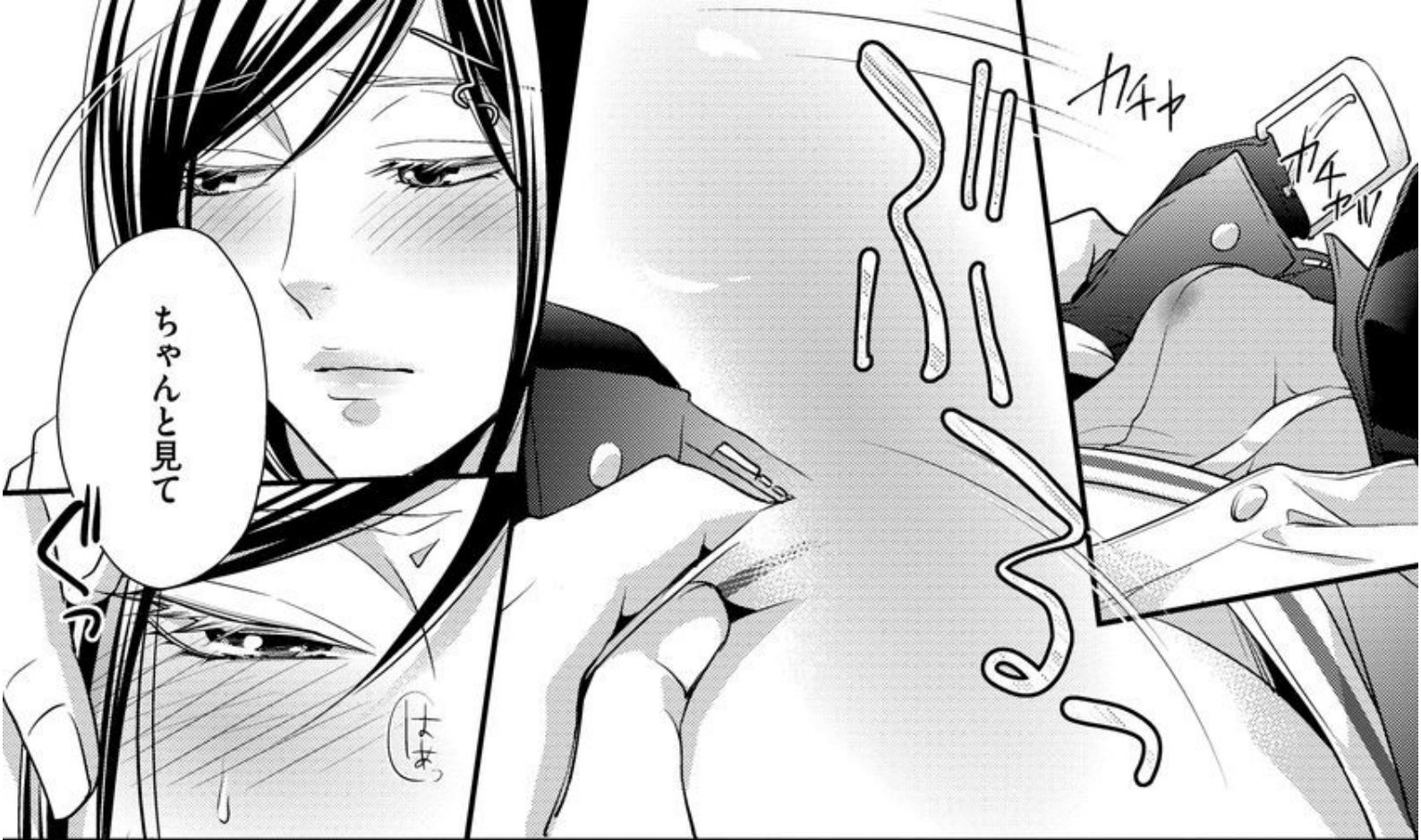
じゃあ今日は
挿れたりしないから

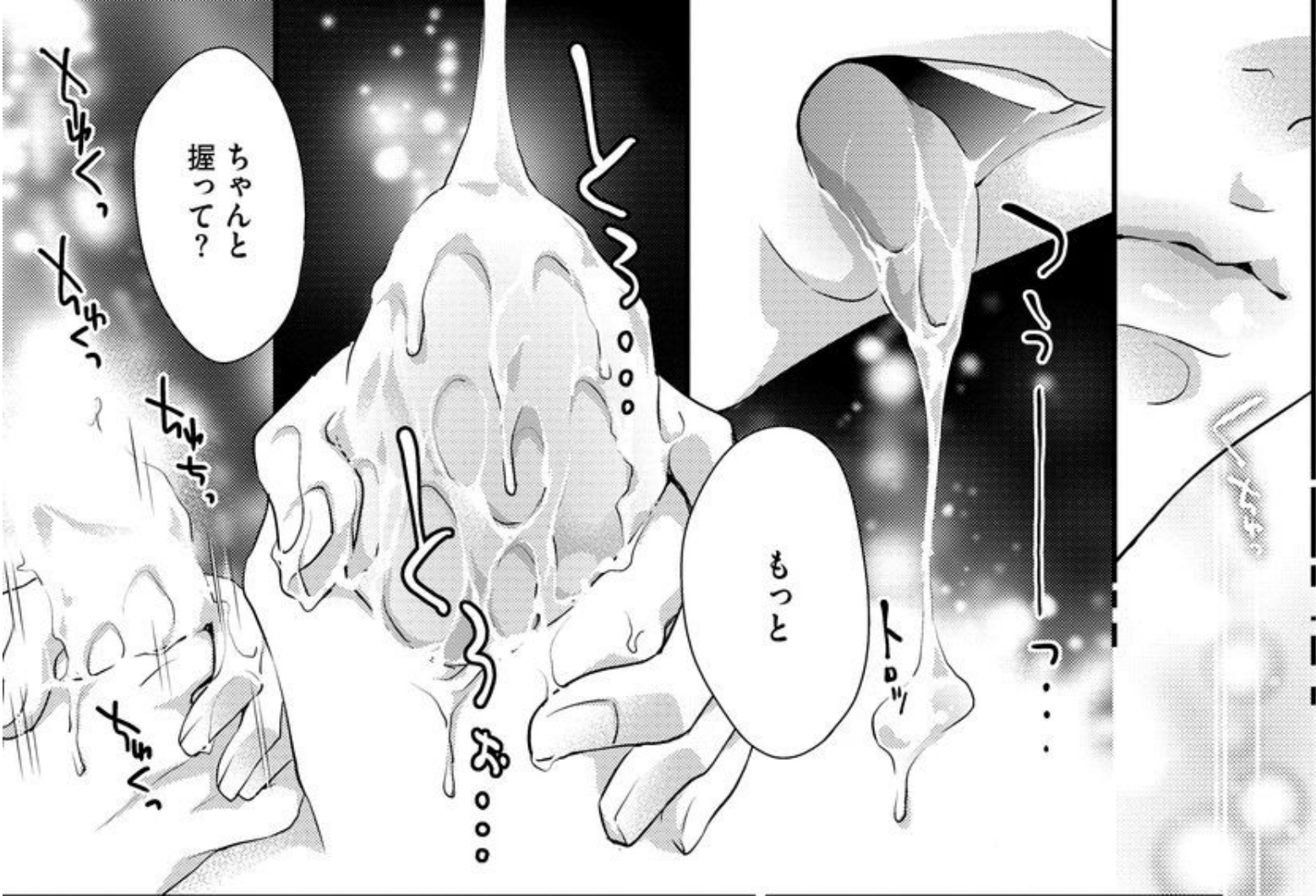


母さんが
うそつくから

本当はどう思ってるか
普通に聞いても
答えないでしょ？

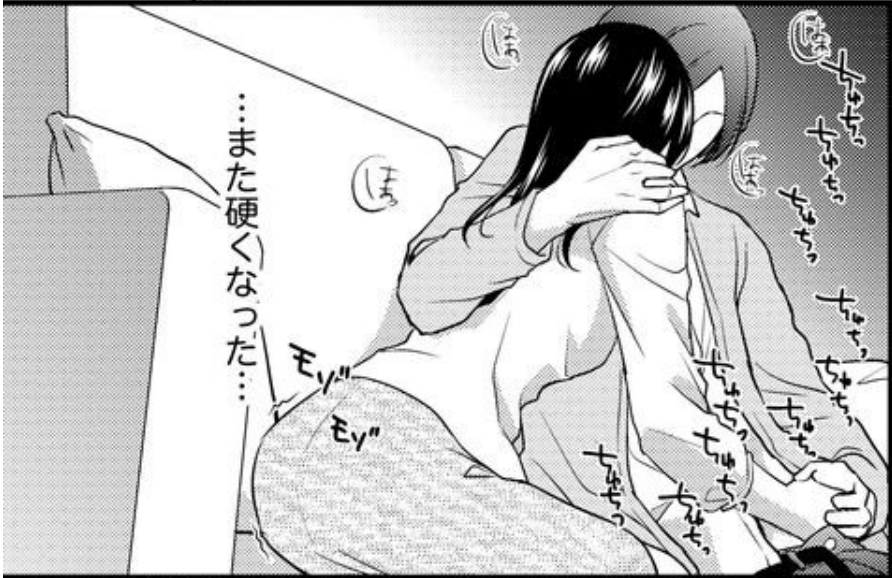
もう勃つてる…





ちやんと握って？

ももも



…また硬くなった…



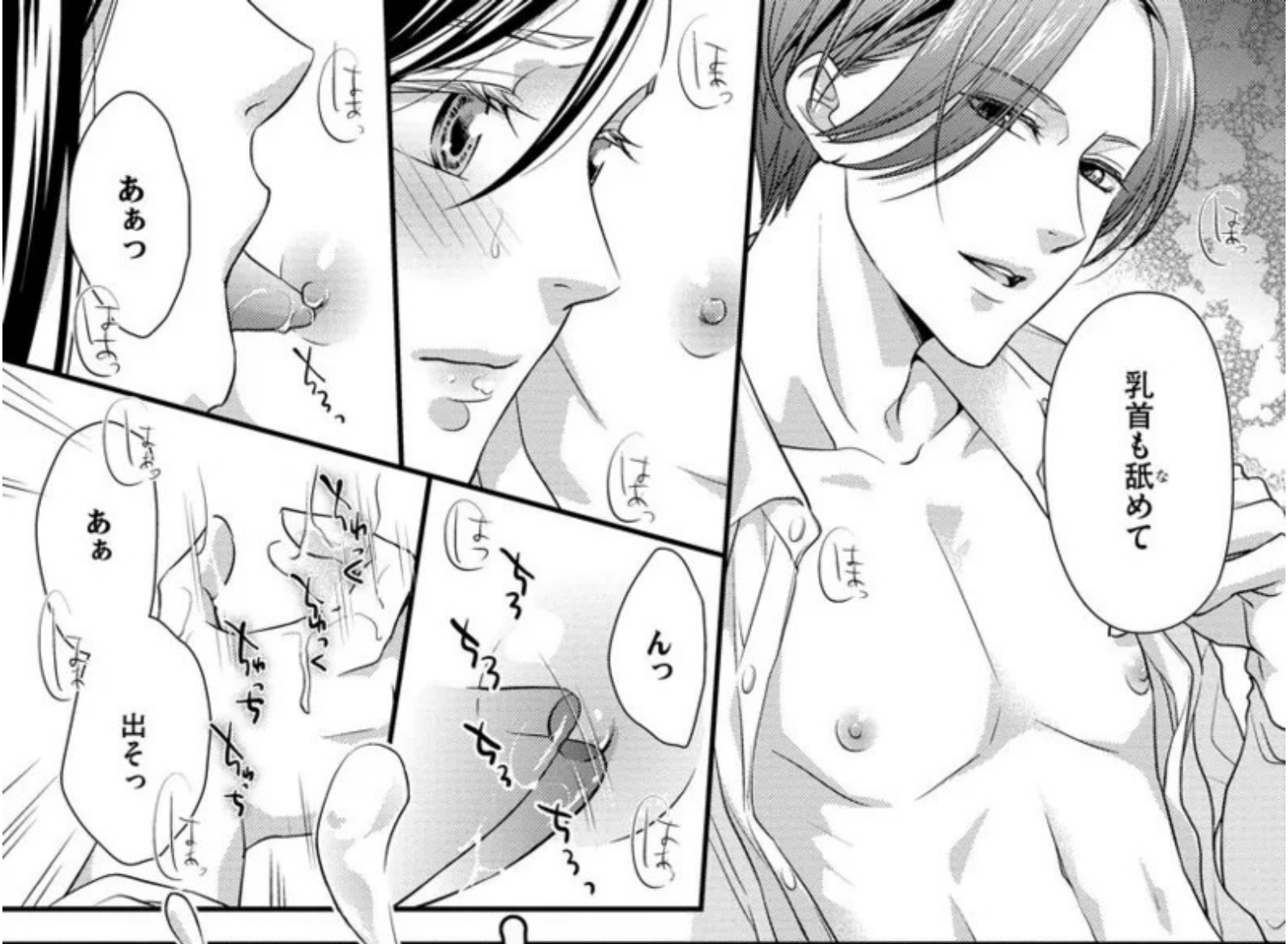
そんなっ

ちよっと興奮してるでしょ？



音が…

それじ…熱い…





ねえ

自分が何度も
腰振ってたの
気づいてた？

すごいやらしい
顔してるよ



本気で俺があの人
所に行けばいいって

そう思ってる？



あつ

こんなことされて
イヤなんだもんね



触ってほしそ
うだった

そんなんじやっ



あつダメっ

私は同情とは違う気持ちで

もうイクの？

君哉くんと

一緒にいたいと思ってる

うううんっ

★第5話へつづく★

発行所 株式会社ぶんか社

〒102-8405

東京都千代田区一番町29-6

www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。

BUNKASHA COMICS S*girl Selection

愛染マナ

家庭内

ヒキア

義理の息子と越えた一線

愛染マナ

家庭内

#5

愛し合うふたり

義理の息子と越えた一線





さっきはいじわる
言ってごめんね



俺はあの人のところ
には行かないよ



君哉くん…



母さんが
何かひどいこと
言われなかったか
心配だったんだ

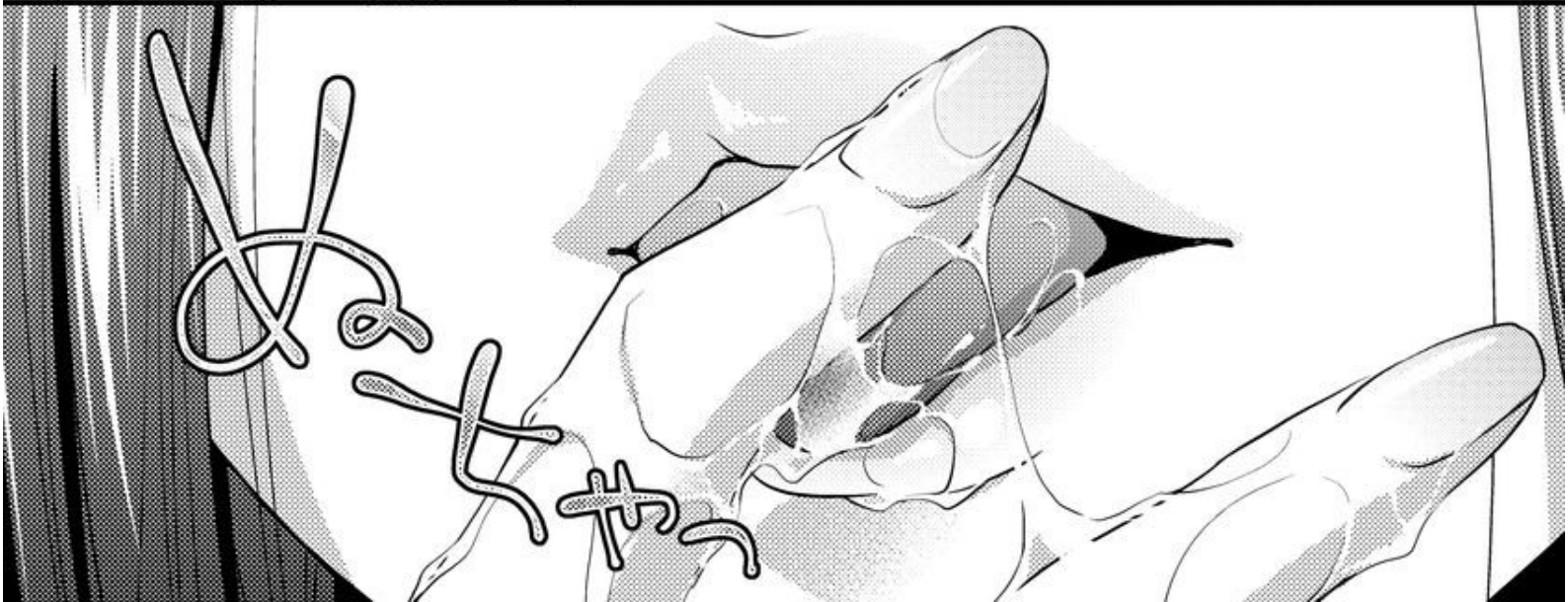


君哉くんの視線は
真っすぐで

母さんもそれ

舐なめて

逸はなひせなくなる





好きだよ
母さん

ママ



うん

ずっと一緒に
いようね

うん



んんっ

んっ



俺が出るよ

どっして私...

ヒキ

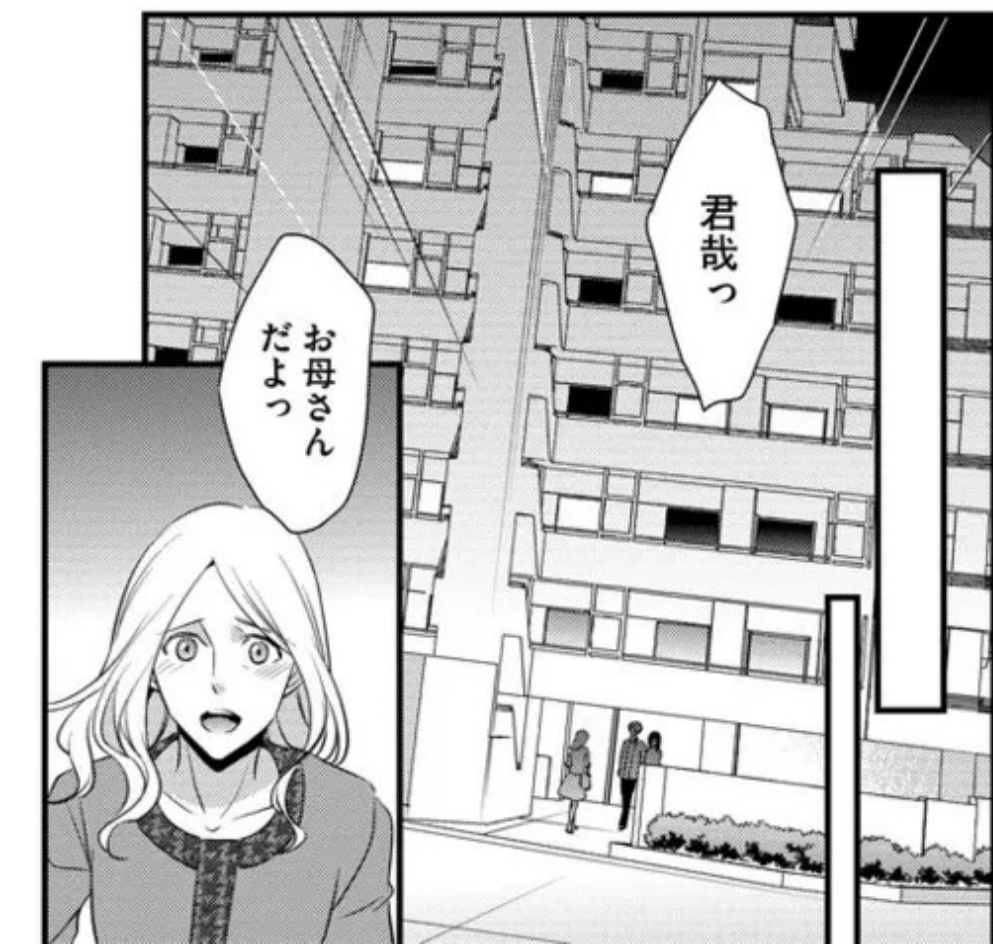
ヒキ

ヒキ

ヒキ

「ヒキ」...

LO
ホッ



お母さんだよっ

君哉っ



母さん...

一緒に下まで来てくれないかな?



なら良かった

私と一緒に

ごめんなさい



ああ…
大きくなって…

あのね

話は聞きました



あなたに会うのは
今日が最後です



どうして？
あの人に何か
言われたの？

あなた
君哉に何か
よけいなことっ



君哉くん…



俺の母親は
紗月さんだけだ

やめてください



そんな…





うん

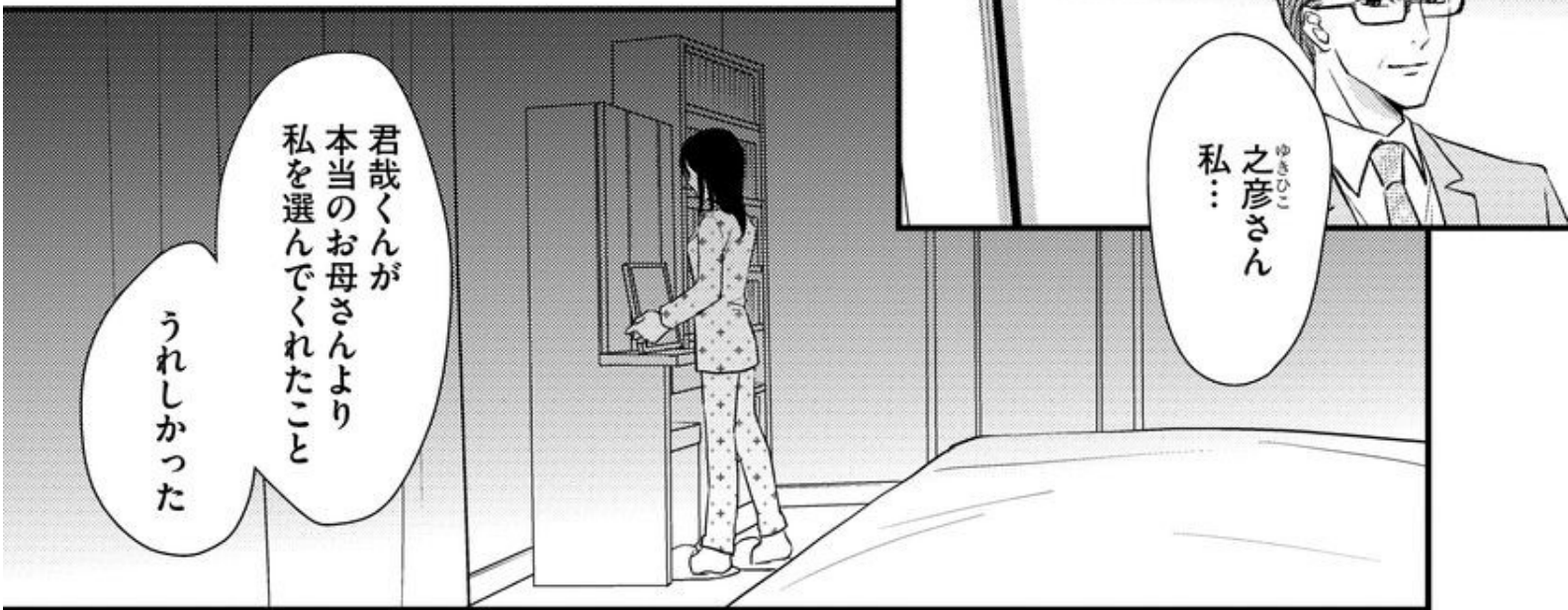
…でも本当に
良かったの？



……ちゃんと
言えてた？



ずっと一緒に
いようねって
言っただけだよ？





納骨の日も決まったし
そろそろ荷物も
整理しなきゃ…



はいでは
よろしくお願
いいたします

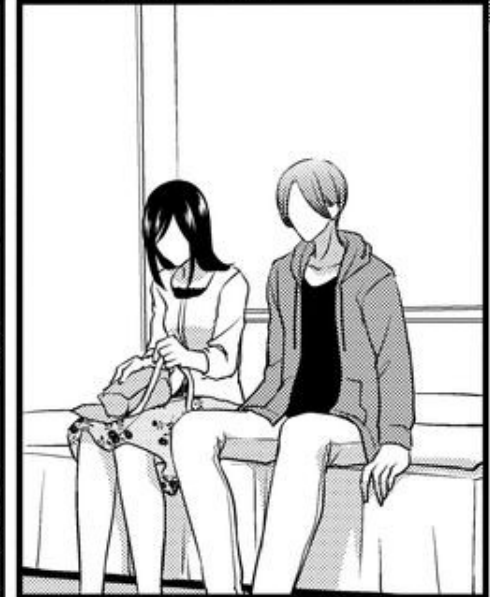
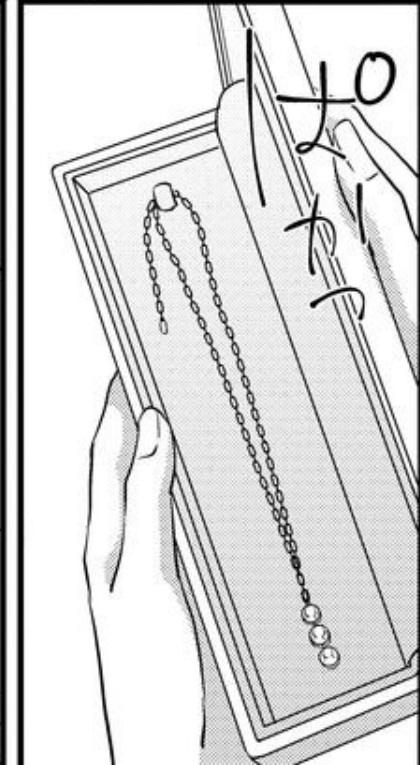
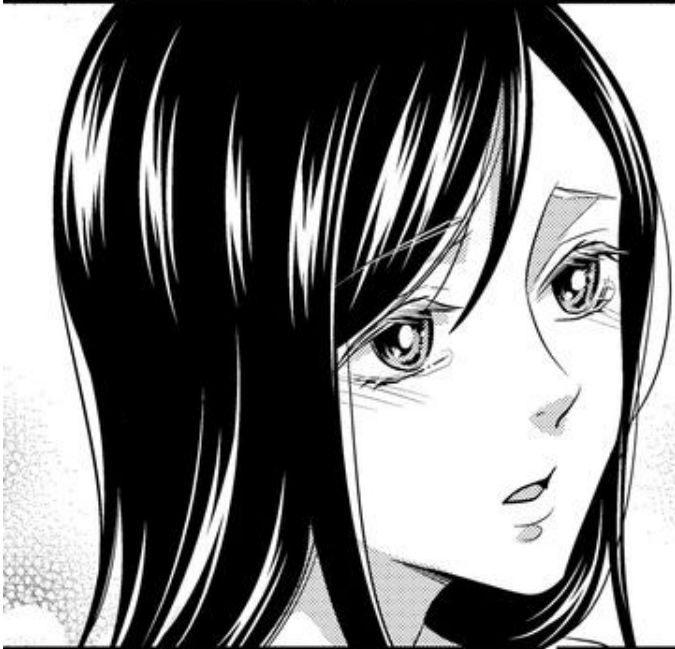


紗月さんへ
いつもありがとう
これからもよろしくお願ひします

之彦さん…



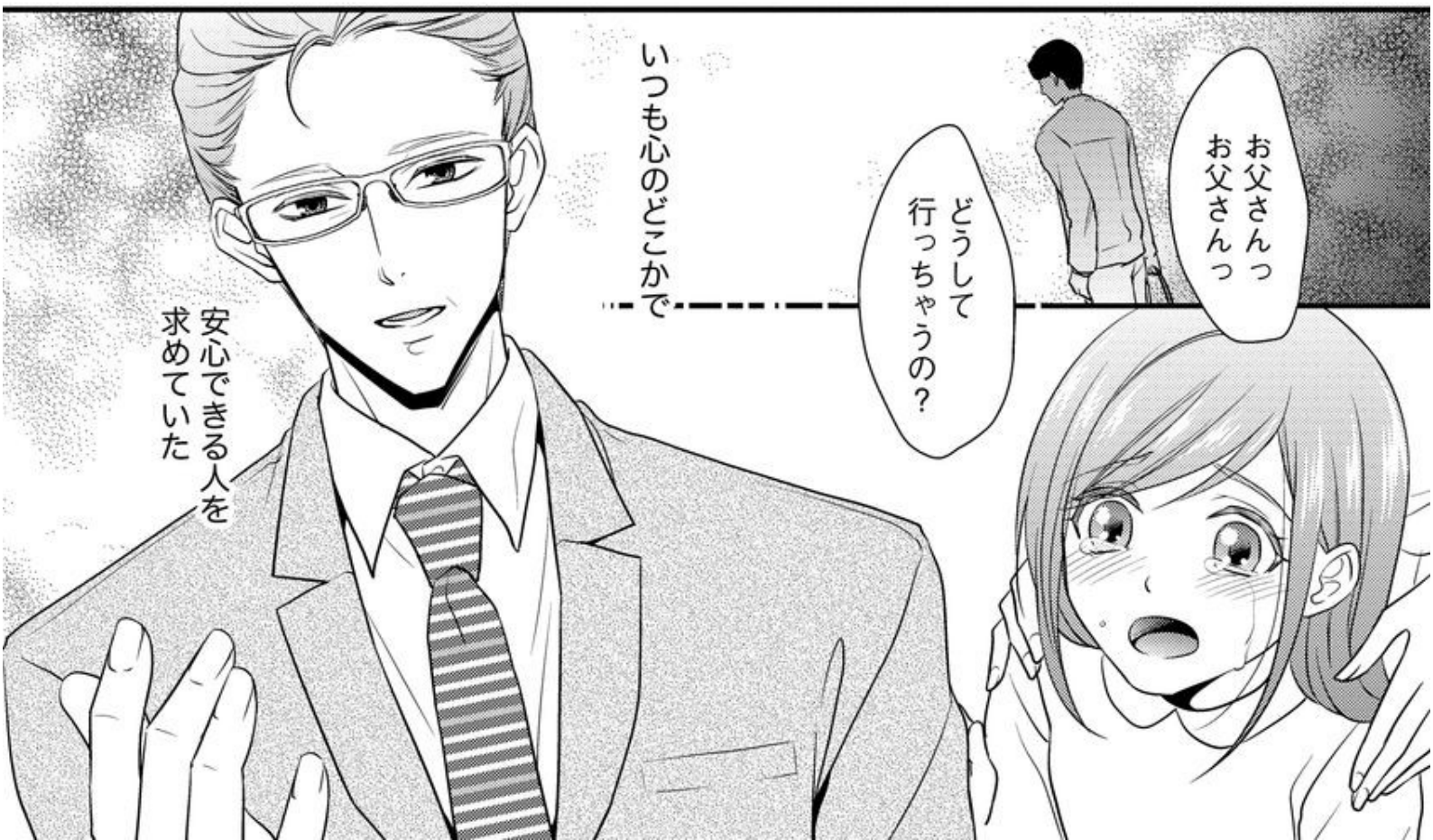
これ…







だからこれからは
俺を見てよ



安心してできる人を
求めていた

いつも心のどこかで...

どうして
行っちゃうの？

お父さんっ
お父さんっ



私はうまく
かわすことが
できないんだ





いいから

このすがりつくような
真つすぐな愛を

君哉くんの



最初は
ほっとけなかった

んんっ



んっ



それだけだった
はずなのに

邪険に
できなかった

君哉くんっダメッ

あっああっ

あっっやっ



母さん

えっ



んっ

んっ

うれしすぎて...

あんまりされたら
出ちゃうからっ

はっ



あっ

そのまま
腰下ろして

ありがとう

はっ

まだ残ってるね

君哉くんも

痛かったよね？
あの時は
ごめんなさい

うん

痕^{あと}ももっと
つけてもいい？



好きだよ
母さん

あっ

あっ

ああっ

んあっ...



あっ

ああっ

私も好きだよ

んあっ

君哉くん

はっ

あっ

だけど…

はっ

君哉くんは……

私が「お母さん」だから
好きなんだよね？

俺の母親は
紗月さんだけだ

はっ

はあっ

母さんっ



★最終話へつづく★

発行所 株式会社ぶんか社

〒102-8405

東京都千代田区一番町29-6

www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。

eBOOKで
快適読書生活



<http://www.ebookjapan.jp>

Digital Distributor
eBOOK Initiative Japan Co., Ltd.
<http://www.ebookjapan.jp>

BUNKASHA COMICS S*girl Selection

愛染マナ

家庭内

ヒキア

義理の息子と越えた一線

愛染マナ

家庭内

#最終話母になった日

シスター

義理の息子と越えた一線

よろしく
お願いいたします

こちらこそ
では
参りましょうか

俺の母親は紗月^{さつき}さんだけだ

はい

東雲苑

君哉^{きみや}くん

あなたはきつと…

うまく区別が付いて
いないんだよね…？

「好きだよ母さん」



その感情が家族愛なのか

独占欲なのか

ただ孤独が怖いのか

本当に恋愛感情なのか



お母さんに
愛されたかった

あの時の
純粋な気持ち

行き場を
失くしたままで

寂しかったんだよね…?



あなたはずっとずっと

神戸家



その上突然
お父さんまで失って

その寂しさを



静し……



私にぶつけるしか

なかったんだよね？



君哉くん



ありがとうございます
ございました



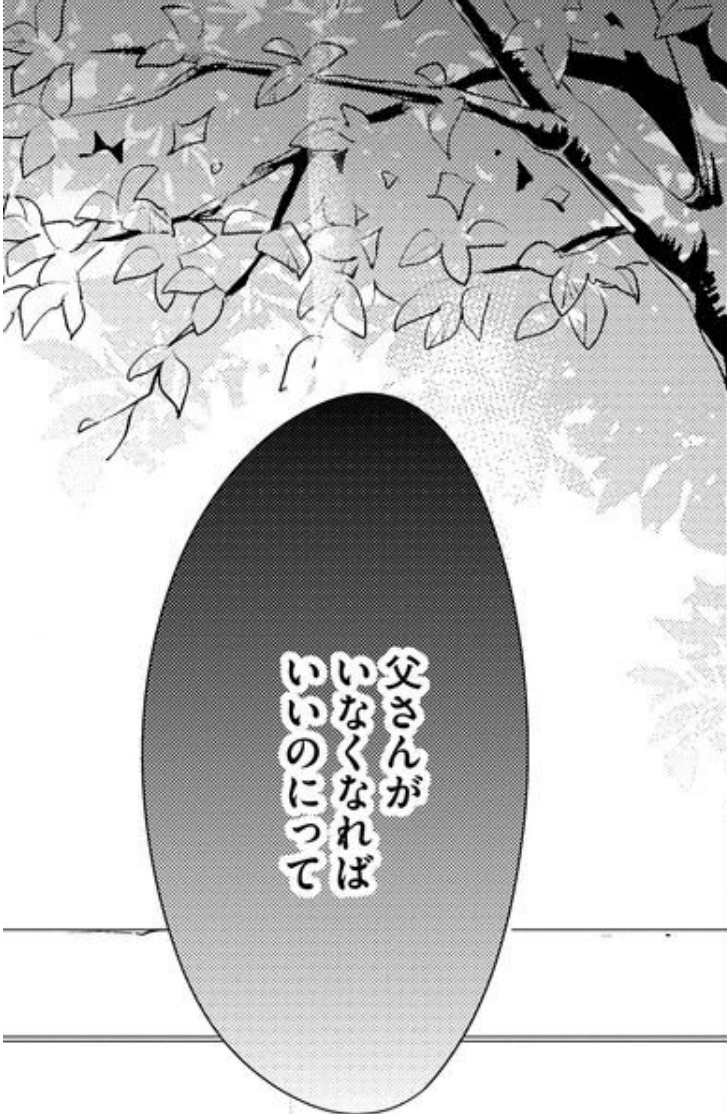
俺今日まで深く…

考えないようにしてた…



父さん

本当に
死んじゃった
んだね…



父さんが
いなくなれば
いいのにつて

瀬戸家



俺：
母さんが
家に来てから



何回か



思ったこと
あるんだ：



そうすれば
母さんは俺だけの
ものになるのにつて



君哉くん…

俺母さんのこと
絶対幸せにするよ

父さんの分まで
俺が愛してあげる

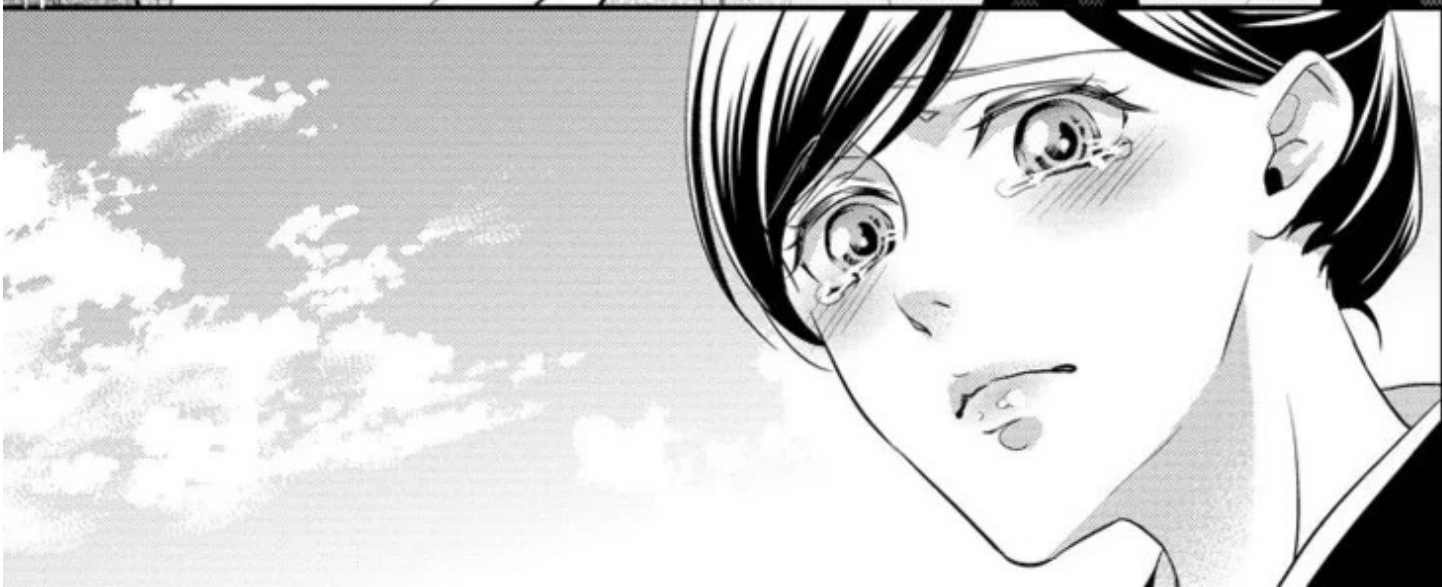
だけど…



こんなこと…っ

…っ父さん…っ

もっ…っ
ずっ…っ
良かったのに…





私君哉くんが
好きだよ

愛してる



母さん…

君哉くん

あなたはまだ
その愛情の区別が
ちゃんとしていて
いないかもしれない



恋愛も家族愛も

これから私が



でも大丈夫…

少し早かったけど
ふたりで歩んでいこう



全部教えてあげる



え 本当?
ごめんね



英語だけ時どき
間違ってたよ



中学の時母さんに
よく勉強教えて
もらったけど



高校の時にさ
俺が帰るの遅くなって
母さんすごく
怒ったの覚えてる?

うん

あの時ね...

うん



なのに

乱暴にして
ごめんね

あつ

はあつ



それと
あの時...

俺母さんが
戻ってきてくれて本当に
うれしかったんだ



はま
母さん入口のここ
好きでしょ？

覚えたんだ

ねえ


んっ



はま
前に
「俺がここから
出てきたんだったら
良かったのに」って
言ったの覚えてる？

はま
本当だよ？
ずっと不安だった

はま
はま
はま
はま
はま
はま



母さんと…

もっと
絶対消えない絆が
あればいいのにつて



おいで



もっと
家族になろう



母さん…?
それって…



…母さんっ

トクッ=





母さん



わかるよ
君哉くんの



ヤダ

あつ
君哉くんっ

母さんが
あんなこと
言うから

出なくなるまで
やめないっ

待って
1回抜いて

変になりそうっ

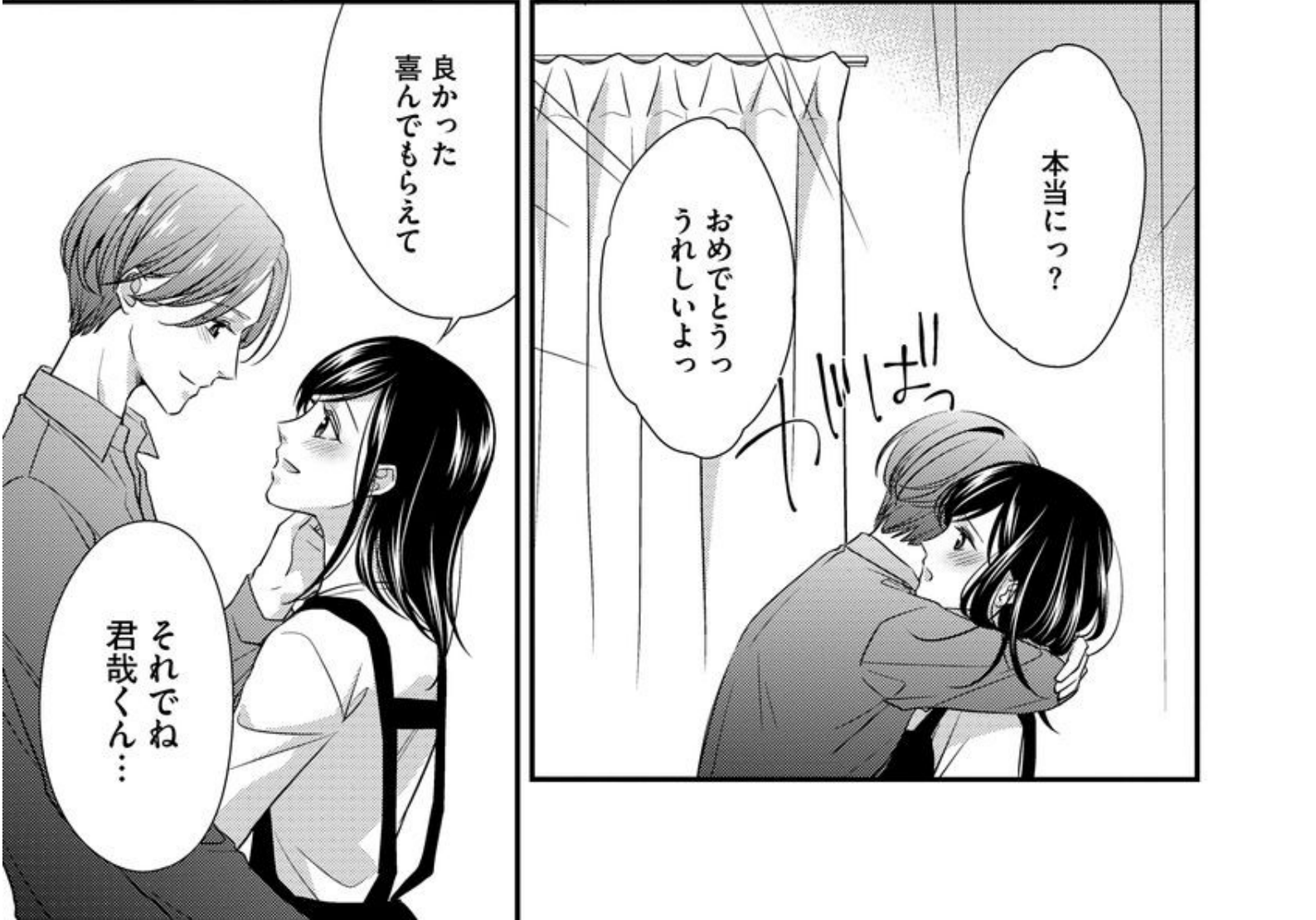




私も愛してるよ
君哉くん

大好き

愛してるよ
母さん



君哉くんは
この子の

お父さんになりたい？
お兄ちゃんになりたい？

君哉くんの好きなほう
選んでいいよ

★おわり★

発行所 株式会社ぶんか社

〒102-8405

東京都千代田区一番町29-6

www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。

eBOOKで
快適読書生活



<http://www.ebookjapan.jp>

Digital Distributor
eBOOK Initiative Japan Co., Ltd.
<http://www.ebookjapan.jp>
